



わかみどり

<http://hirabayashi-e.murakami.ed.jp>



モチベーション

私が小学校3～5年生の話です。父は、十日町の学校へ単身赴任していました。土曜日の夕方、片道4時間近くかけて帰宅し、月曜日の早朝また十日町へ。私は父と一緒に風呂に入り、学校のことや友達のことなどあれこれ話すのが好きでした。

そんなある日。「マラソン大会、がんばったらごほうびやろっか?」「いえー。」「3位以内に入ったらはどうだ?」「○や□、△とか速い人いるし、うーん。」「じゃ、6位以内か。」「ん。」

風呂場に母が顔を出し、「また、お父さんそんなこと。物でつって!」「いや、裕はがんばるんだってさ。そうだろ。」「ん。」「そうなの?じゃ、練習がんばりなさいよ。」

戦車のプラモデルをねだったような気がします。しかし、体育教師だった父の願いもむなしく、私は練習に打ち込むことなく、大会はがんばって走りましたが6位以内には入れませんでした。でも、「がんばったんだろ。」と父に言われて何か買ってもらいました。母は「がんばったね。よかったね。」と言ってくれました。

ごほうびを得るために練習に打ち込むという外発的動機付けは低かったのです。練習することで楽しさを感じ、ごほうびを得てさらに走ることに一生懸命になる…。走る楽しさを感じることができたらよかったのでしょうか。

さて、平林小学校の2年生の話です。

昨年「百人一首に親しみませんか。」と子どもたちに呼びかけ、担任にも話をしましたが、なかなかうまくいきませんでした。しかし、12月頃、2年生の数人でブームとなり、休み時間になると校長室で練習するようになりました。私は読み役で参加し、「速い!」「すごい!」とか言って褒め続けました。外発的動機付けとしてトロフィーを用意し、大会を企画しました。トロフィーを見せると、「オー。」と声上がり、外発的動機付けは高かったはずですが、けれども、うちの2年生はここからがすごいのです。

黄、緑、橙の3色の大会が終わりましたが、飽きることなく、3年生になっても百人一首を続けたいと燃えているのです。集中力、暗記力、瞬発力が高まっています。一瞬の勝負に楽しさを感じ、トロフィーなどなくとも、百人一首のもつ楽しさを存分に味わっているのです。内発的動機付けが高まっているのです。この力が高いと、持続的にモチベーションを維持することができ、自身を大きく成長させることにつながります。

先日、その子どもたちにインタビューしてみました。「最初札が取れなくて悔しかったけれど、取れるようになってうれしい。」「みんなで誘い合って校長室へ来ています。」「トロフィーなくたって面白いです。」初めて大会に出た子どもは、「負けてしまったけれど楽しかった。」参加した子どもたちの表情は笑顔で自信に満ちています。子どもたちの素晴らしい成長を間近で見ることができた幸せな時間でした。



令和6年度の教育活動について

3月22日は卒業証書授与式です。小学校生活の中で最も大切な活動であり、小学校6年間の課程を修了した証です。全校をリードしてくれた卒業生に感謝し、これからの人生に幸あれと前途を祝福する式です。素晴らしい卒業生とお別れするのはさみしいですが、バトンを受け継ぐ次の6年生が張り切って待っています。卒業生が次のステージで活躍することを心から願っています。

さて、卒業証書授与式は控えています。今年度の平林小学校の教育活動がほぼ終了しました。3学期は、今年度の成果と課題をもとに次年度の構想を練り、計画する学期です。令和6年度は以下のように計画し、取組の重点化を図ります。

1 週の時数を1限カットします。

令和5年8月、中央教育審議会から「教師を取り巻く環境整備について緊急的に取り組むべき施策」が提言されました。取組の具体策として、「1. 学校・教師が担う業務の適正化の一層の推進」内の「(2) 各学校における授業時数や学校行事の在り方の見直し」が示されました。標準授業時数を大幅に上回っている学校は見直すことを前提に点検を行い、指導体制に見合った計画に見直すことが求められています。

平林小学校は、大幅に上回っている学校ではありませんが、来年度の授業時数を精査した結果、週の時数を1限カットしても標準授業時数は確保できる見通しが立ちました。来年度は、金曜日は1年生4限、2～6年生は5限で下校です。教師は今まで以上に1時間の授業時間を大切に指導に当たります。金曜日は放課後の時間が増えるので、教材研究や業務遂行などに充てることができ、働き方改革につなげます。

2 スキー教室は中止します。

新潟県教育委員会から、SNS教育の指導の充実を図るよう指導がありました。今年度は、全学年で発達段階に応じて指導を行いました。より一層の充実を図ります。特に高学年向けには、「携帯スマホ安全教室(仮称)」を新規に行い、便利な情報社会の中で、無知なるが故に、自身が加害者・被害者にならないよう学びを深めます。トラブルが起きてからでは遅いのです。新規に指導時間を確保する観点から、スキー教室は中止とします。

3 水泳指導の充実を図ります。

「平林小学校のプールを修理することはない。パルパークのプールを使うように。」と村上市教育委員会からの指示がありました。過去2年間、荒天などで水泳の指導時間を十分確保できていません。学校課題として取り組み、子どもたちの泳力向上に努めます。1学期だけでなく、状況に応じて2学期も指導時間を確保する予定です。

4 懇談会の時期と内容を見直します。

今年度は、6月に個別懇談会を実施し、12月には希望する保護者の方と個別懇談会を行いました。来年度は、夏季休業日に設定し、1学期の子どもたちのがんばりをお伝えし、家庭と一致して取り組むことなどを話し合います。同じように12月にも設定します。来年度は希望制ではなく全ての保護者の方と懇談します。その2回の懇談会に伴い、通知表の所見は省略します。

5 学校だよりをA3の4面構成にします。

各学年の様子をもっと地域の皆様にお伝えしたいという思いから、学校だより内に各学年のおたよりを載せます。一度に全学年は掲載できないので、順になります。学年だよりを一度ご家庭でご覧になっている方もいらっしゃると思いますが、地域の皆様への発信を強化します。

(文責 校長 南波 裕)

長なわ大会・短なわ大会

寒い、寒い冬は体を動かす機会が減ってしまいます。そこで、運動量を確保するために3学期はなわとび運動を推奨しています。



特に長なわは各学年とも勝負心に火が付いたようで、熱心に練習していました。回数を重ねるごとに新記録が生まれ、本番に向けて気持ちが高まっていたようでした。 **長なわ大会結果**

本番当日、どの学年も気合十分で臨み、うれしい結果も悔しい結果もありました。

短なわ大会は、体育の時間を利用し1年生と6年生 2年生と5年生 3年生と4年生がお互いに数を数えたり応援をしたりして自己ベスト更新に向けてがんばりました。

学年	回数	学年	回数
1年	83	4年	168
2年	132	5年	299
3年	119	6年	269



地域の方と楽しくと交流しました

「超ロング昼休み」が始まって1年が立ちます。地域や保護者の方から来ていただき、一緒に楽しく交流する恒例となっております。

2月は、「モルック」という棒倒しゲームと折り紙を楽しみました。

モルックはやったことがある子も、初めての子も楽しく教わりながらゲームを楽しみました。折り紙は「こま」づくりに挑戦！！別々の紙を織り込んで、一つのこまを作り上げます。とってもよく回る駒ができ上がり、子どもたちも大満足でした。

モルックは一セットいただいたので、春には外で遊びたいと考えています。

雑巾とアクリルたわしを頂きました。

牛屋地区の「茶の間」に参加されている皆さんから、雑巾とアクリルたわしを頂きました。

学校では、週3回、たてわり班に分かれて掃除をしています。

棚などをふくために雑巾を、手洗い場を磨くためにアクリルたわしを活用させてもらっています。ピカピカな学校になるようにそうじをがんばりたいと思います。



6年生ありがとう！！「6年生を送る会」



令和5年度、全校のリーダーとして活躍してくれた6年生に感謝の気持ちを伝える時期になります。

会に向け、各学年が分担し、6年生の似顔絵の飾り付け、体育館を飾る紙花や看板、入場の花のアーチなどを準備しました。特に5年生は、全校の中心となり、計画や準備に一生懸命取り組みました。

2月29日の当日は、1・2年生は元気でかわいいダンス。3・4年生は6年生に勉強や運動で挑戦したり、アンケートを基にしたクイズ。5年生は司会進行とくす玉で、6年生への感謝の気持ちを伝えました。6年生は、それに



をもとにした楽しい劇を披露しました。

学年のおたより紹介

今回は6年生を掲載します

卒業に向けて・・・



今週初めは、体調を崩しましてご迷惑とご心配をおかけしました。申し訳ございません。担任不在の中でも、課題に向かって一生懸命頑張る姿が見られたと入って頂いた先生方に言われました。立派な姿です。

さて、いよいよ卒業までのカウントダウンが10を切りました。子どもたちはお世話になった平林小学校の校舎をきれいにしたり、きれいに保ってもらうように雑巾を作ったり一生懸命です。タオルのご用意大変ありがとうございました。また、今週は卒業アルバムの個人撮影も行われました。カメラを正面に緊張して固い表情でしたが、何回か撮るうちに表情が柔らかくなってきて素敵な写真が撮れていました。卒業アルバムの完成が楽しみです。

